

SHP ツール バージョン 8.0.2 更新記録

2014/11/17
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>

1. PatchJGD

メニュー「PatchJGD」を追加しました。

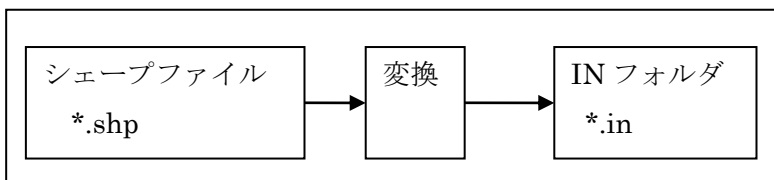
シェープファイルの XY 座標を国土地理院の PatchJGD を使って補正するための機能です。

処理の流れ

次の 3 ステップでシェープファイルの座標を補正します。

(1) シェープファイルから.in ファイル作成

平面直角座標系のシェープファイルから、PatchJGD の入力ファイル.in を作成します。シェープファイルの座標をすべて.in ファイルに記録します。複数のファイルを一括で変換します。



(2) PatchJGD で座標変換

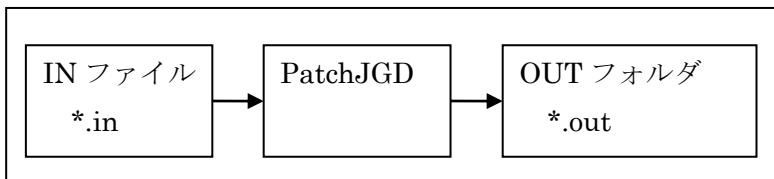
国土地理院の PatchJGD で.in ファイルから.out ファイルを作成します。

<http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/patchjgd/download/agreement.html>

<http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/patchjgd/about.html>

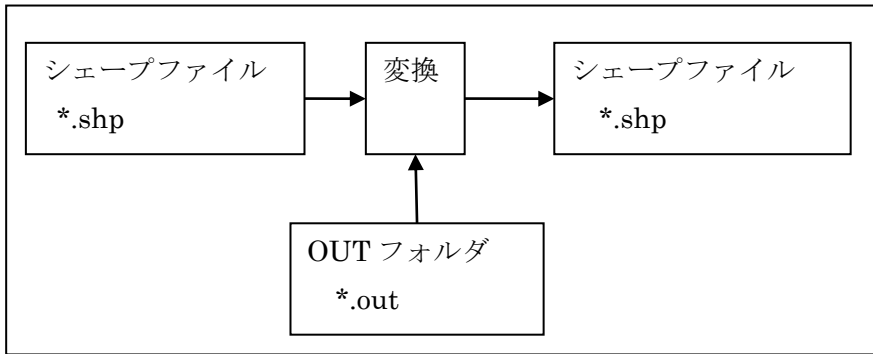
<http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/patchjgd/download/>

<http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/patchjgd/qa/answer.html>



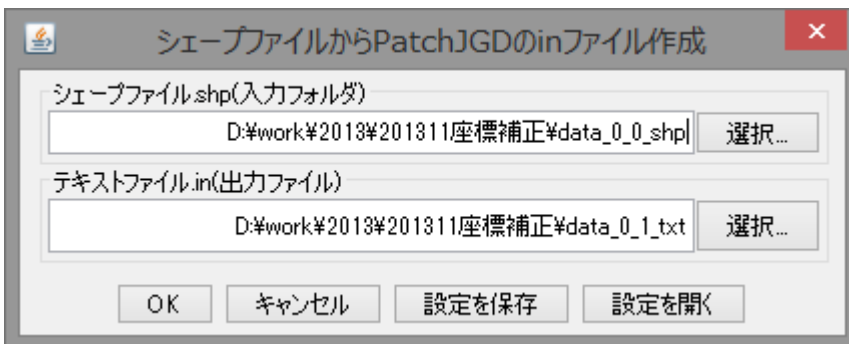
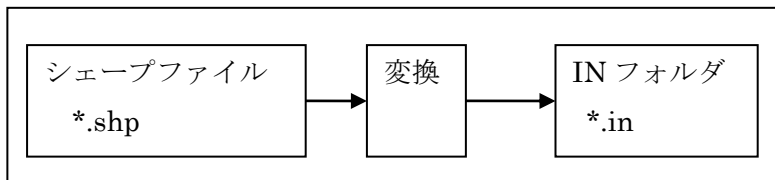
(3) out ファイルをシェープファイルの座標に反映

.out ファイルを参照して、シェープファイルの座標を更新します。



シェープファイルから PatchJGD の in ファイル作成

シェープファイルの座標を.in 形式で出力します。



シェープファイル.shp(入力フォルダ)

座標を補正したいシェープファイルのフォルダを指定します。シェープファイルの座標は平面直角座標系とします。

テキストファイル.in(出力フォルダ)

PatchJGDの入力ファイル.inを作成するフォルダを指定します。シェープファイルと同じ名前で、拡張子が.inのファイルを作成します。

各シェープファイルに記録されている座標をすべて.inファイルに出力します。シェープファイルがポリゴンの場合、始点と終点は同じ座標ですが、両方の点を.inに出力します。

.inファイルのコメント部分は、シェープファイルのレコードやパート、座標のインデックスです。元のシェープファイルに記録されている座標を特定するための情報です。

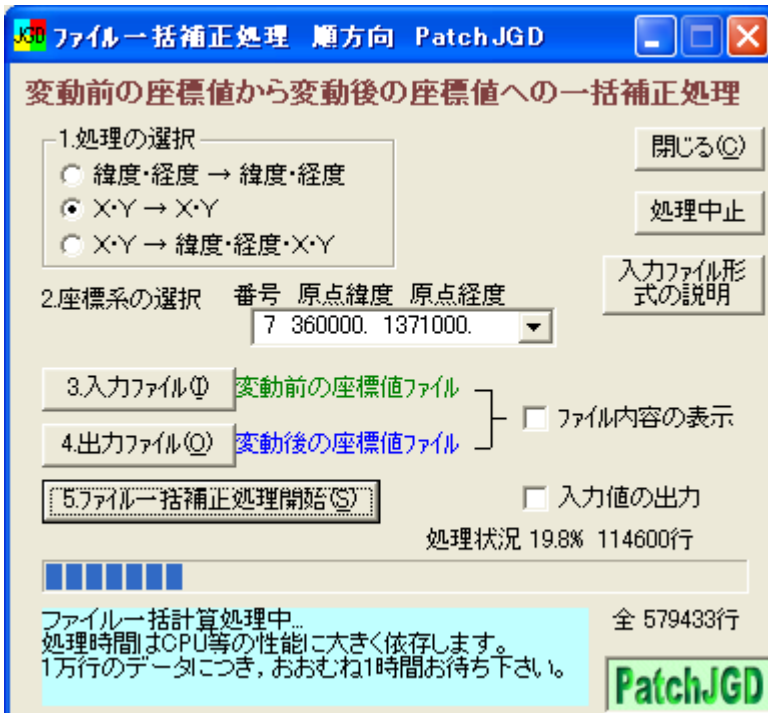
5.1677473	5.5480248	1_0_0↓
6.6752503	2.1854824	1_0_1↓
6.6752503	2.1854824	2_0_0↓
8.5569385	7.9878308	2_0_1↓
1.1756404	2.1027935	2_0_2↓
2.1048361	9.7481205	2_0_3↓
3.9135493	5.3334176	2_0_4↓
5.7414031	0.9500139	2_0_5↓
8.0326701	5.1473421	2_0_6↓
9.8749303	0.6109076	2_0_7↓
1.1184958	7.0255617	2_0_8↓
2.5293304	2.8007551	2_0_9↓
3.6139448	8.9747134	2_0_10
5.0500000	0.0100101	0_0_11

PatchJGD による変換

国土地理院の PatchJGD で、in ファイルから out ファイルを作成します。



国土地理院の PatchJGD のメニュー「ファイル一括補正処理」での変換を想定しています。



「処理の選択」では、「X・Y→X・Y」での変換を想定しています。

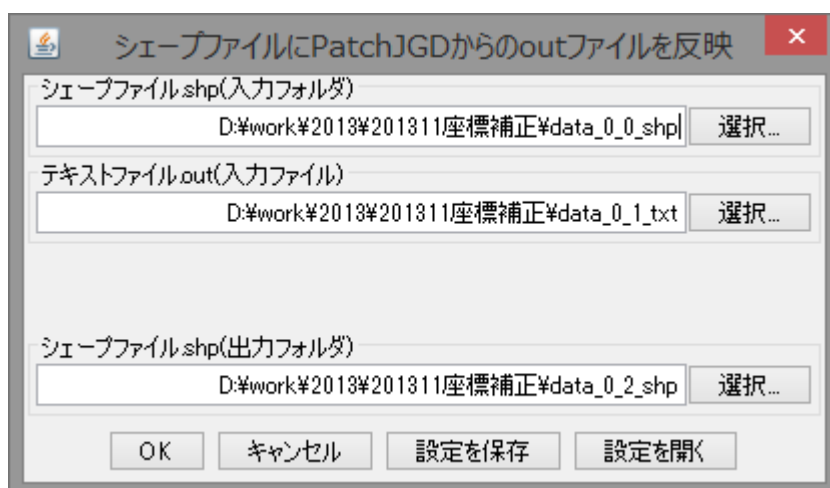
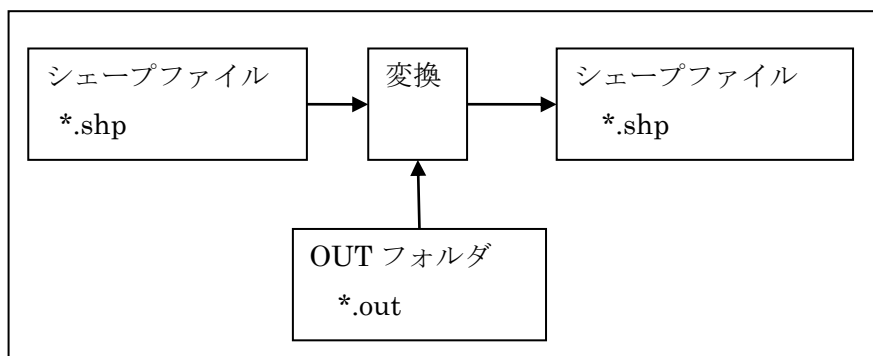
「出力ファイル」は入力ファイルと同じ名前にしてください。拡張子について in が out になります。拡張子以外はシェープファイルと同じ名前にします。

「ファイル内容の表示」は、シェープファイルのシェープの数が多い場合には OFF にしてください。

「入力値の出力」が ON の場合、行の先頭に入力 in ファイルの座標も記録され 5 列になります。OFF の場合は 3 列出力されます。メニュー「シェープファイルに PatchJGD からの out ファイルを反映」では、両方のタイプに対応しています。

シェープファイルに PatchJGD からの out ファイルを反映

PatchJGD から出力された.out ファイルを参照して、シェープファイルの座標を更新します。



シェープファイル.shp(入力フォルダ)

座標を補正したいシェープファイルのフォルダを指定します。シェープファイルの座標は平面直角座標系とします。メニュー「シェープファイルから PatchJGD の in ファイル作成」での変換元と同じフォルダを指定してください。

テキストファイル.out(出力フォルダ)

PatchJGD から出力した.out ファイルのフォルダを指定します。シェープファイルと同じ名前で、拡張子が.out のファイルを参照します。

シェープファイル.shp(出力フォルダ)

入力フォルダのシェープファイルについて、座標を補正し、このフォルダにシェープファイルを作成します。保存するシェープファイルは.shp、.dbf、.shx です。

out ファイルの 3 列目あるいは 5 列目のコメントをキーとして、座標を特定します。

シェープのタイプ	コメントの形式
ポイント	レコード番号+アンダーバー+ポイント番号

ポリライン	レコード番号+アンダーバー+ポリライン番号+アンダーバー+点番号
ポリゴン	レコード番号+アンダーバー+ポリゴン番号+アンダーバー+点番号

番号は0から始めています。

-	9.2799	-	8.5175	-	9.3636	-	8.3783	10_0_0
-	2.3942	-	4.1255	-	2.4779	-	1.9863	10_0_1
-	1.6019	-	7.1238	-	1.6857	-	1.9845	10_0_2
-	6.9769	-	7.3249	-	7.0607	-	1.1856	10_0_3
-	8.3463	-	5.1354	-	8.4301	-	1.9961	10_0_4
-	7.6072	-	1.2648	-	7.6911	-	1.1255	10_0_5
-	0.6345	-	8.7924	-	0.7184	-	1.6530	10_0_6
-	1.5207	-	0.8584	-	1.6047	-	1.7191	10_0_7
-	7.9074	-	8.5340	-	7.9914	-	1.3946	10_0_8
-	7.5748	-	8.3318	-	7.6587	-	1.1924	10_0_9
-	8.9360	-	8.7562	-	9.0203	-	1.6166	11_0_0
-	0.2135	-	1.0239	-	0.2978	-	1.8843	11_0_1
-	7.7918	-	9.3852	-	7.8761	-	1.2456	11_0_2
-	7.7918	-	9.3852	-	7.8761	-	1.2456	12_0_0

PatchJGD から出力される.out ファイルの座標は小数点以下 4 桁まで(0.1mm まで)です。従って、出力するシェープファイルの座標も小数点以下 4 桁までとなります。

変換の進行状況をレポートパネルに表示します。各シェープファイルについて、東方向と北方向の移動量の最大値と最小値をレポートします。

```

中心線(大).shp...
中心線(大).out 行数=11688
中心線(大).out 点数=11688
read D:\work\2013\201311座標補正\data_0_0.shp... 中心線(大).shp
中心線(大).shp 変換したXY座標の数=11680
中心線(大).shp 東への移動の最大値=0.1574
中心線(大).shp 東への移動の最小値=0.1242
中心線(大).shp 北への移動の最大値=-0.0748
中心線(大).shp 北への移動の最小値=-0.0962
ファイル[D:\work\2013\201311座標補正\data_0_2.shp]... 中心線(大).shpを保存しました
ファイル[D:\work\2013\201311座標補正\data_0_2.shp]... 中心線(大).shxを保存しました
ファイル[D:\work\2013\201311座標補正\data_0_2.shp]... 中心線(大).dbfを保存しました
処理時間: 19秒375ミリ秒
シェープファイルにPatchJGDからのoutファイルを反映終了

```

ガイド レポート チェックリスト1 チェックリスト2 確認リスト